

# 令和2年度 事業実施報告

事業名	“びわことの約束” キャンペーン および マザーレイクゴールズ (MLGs) つくろうワークショップ for BYnet
日時	“びわことの約束”：令和2年9月28日（月）作成、12月13日（日）公開、 MLGs つくろう WS：令和3年1月30日（土）14時00分から16時00分
場所	“びわことの約束”：さくらであい館（12/13）、 MLGs つくろう WS：Zoom オンライン会議（1/30）
参加者数	“びわことの約束”：8名（9/28）、5名（12/13）、 MLGs つくろう WS：12名（1/30）
概要	滋賀県のマザーレイク21計画（ML21計画）は令和2年度で終了し、令和3年度から開始する琵琶湖保全再生計画第2期計画に統合されることとなった。この中で、県・民協働の部分であるマザーレイクフォーラム（びわコミ会議にBYnetは6年間参加してきた）を引き継ぐ活動として、琵琶湖版SDGsであるマザーレイクゴールズ（MLGs）の設定とその推進の仕組みが提案され、ゴール作成のために“びわ湖との約束”キャンペーンおよびMLGs つくろうワークショップが開催され、これらに参加した。
実施結果	<p>“びわ湖との約束”：9月の幹事会にて、BYネットの約束は「年に一度は琵琶湖に行こう」と決定し、12月14日にさくらであい館にて写真撮影し、同日Facebookにて発信した。</p> <p>MLGs つくろう WS：マザーレイクフォーラム運営委員会事務局から提案された10個のゴールに対し、下流域の人も参加出来るゴールが無い、琵琶湖だけでなく大阪湾を含めて世界と繋がっていることを盛り込んで欲しい、SDGs との関係を明確にして欲しい等々意見が出た。この結果、3月15日に公開された“MLGs アジェンダ（素案）”において、ゴール6「森川里湖」が「森川里湖海」に修正され、また、幾つかのゴールにおいても、アジェンダの中で下流域の視点が盛り込まれるなど、BYネットの提案が反映された。</p>
資料	 <p>びわ湖との約束（左）、今回のWSの結果も反映されたMLGs（右）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 清らかさを感じる水に</li> <li>2 豊かな魚介類を取り戻そう</li> <li>3 多様な生き物を守ろう</li> <li>4 水辺も湖底も美しく</li> <li>5 思み豊かな水源の森を守ろう</li> <li>6 森川里湖海をつなかりを健全に</li> <li>7 びわ湖のためにも温室効果ガスの排出を減らそう</li> <li>8 気候変動や自然災害に強い暮らしに</li> <li>9 生業・産業に地域の資源を活かそう</li> <li>10 地元も流域も学びの場に</li> <li>11 びわ湖を楽しみ愛する人を増やそう</li> <li>12 水とつながる折りど暮らしを次世代に</li> <li>13 つながりあって目標を達成しよう</li> </ol>
ふりかえり	事務局から示された各ゴールのブラッシュアップにおいて、5回のワークショップが開催されたが、うち4回は県内の人向けであったため、今回のワークショップは下流域市民による唯一の議論となり、その点で意義があったと思われる。なお、これらワークショップを経て作成、3/15に公開されたMLGsアジェンダは素案であり、今年7月1日の正式版の公開に向けて、ワークショップ等を経てさらにブラッシュアップされる予定であり、今後もBYネットとして関わって行く必要があると思われる。